

県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体がそれぞれの力を生かし、協力し合いながら三重の文化活動を支えており、県民の皆さんが多様な文化にふれ親しみ、文化活動への参加をとおした幅広い交流が行われるとともに、歴史的・文化的資産等が地域の誇りとして、大切に守り伝えられ、活用されています。

現状と課題

- 県民一人ひとりが自ら文化芸術にふれ、学び、成果を高め合う機会や、お互いに交流し、活動の裾野を広げる機会を充実させる必要があります。
- 県民主体の文化活動を促進するとともに、文化情報の収集・保存と共有を進め、併せて効果的な情報発信を行う必要があります。
- 地域の中で発展してきた個性豊かな文化や守り伝えられてきた文化財が、地域に対する愛着や誇りを育み、地域の絆を強めるなど、人づくりや地域づくりに果たす役割が期待されています。

変革の視点

新県立博物館の開館に向け、総合文化センター周辺の各施設が、さまざまな主体と連携し、中核的な拠点（文化交流ゾーン）を形成することにより、県民の皆さんが、心の豊かさと安らぎを感じ、知的な刺激を受けるよう文化にふれる機会を多く提供します。

平成 27 年度末での到達目標

三重の文化や文化財が効果的に県内外へ情報発信されるとともに、それらを生かした取組が活発になり、県民の皆さんが、主体的に文化活動に参加・参画し、地域の魅力や価値を高めています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
参加した文化活動に対する満足度	60.7% (22 年度)	66.0%	三重県文化会館が実施した公演事業および歴史的・文化的資産を生かしたまちづくり事業などにおけるアンケート調査で、公演やイベントの内容について、「とても満足している」と回答した人の割合

平成 24 年度の取組方向

- 文化活動への助成、顕彰制度の運用および文化芸術の発表の場づくりなど、県民の文化活動を支援するとともに、三重の文化に関する情報を県内だけでなく、全国や海外に向け情報発信します。
- 三重県総合文化センター周辺の各施設が集積による利点を最大限に生かして連携・協働し、集客機能、情報発信機能の強化に努め、文化交流ゾーンの形成に向け取り組みます。
- 三重県総合文化センターにおいては、施設の適切な維持と有効活用を図るとともに、質の高い文化芸術公演の実施、アウトリーチ活動等による文化・芸術の普及・人材育成などを進めます。
- 県民の皆さんが、愛着や誇りをもって地域づくりの活動が行えるよう、地元の語り部や専門家等と連携しながら、歴史街道等の地域の資産を活用できる環境づくりを進めます。
- 史跡斎宮跡について、史跡の保存・活用のため、計画的・継続的な発掘調査を進めるとともに、地域と協働しながら史跡の整備に取り組みます。

- 地域の貴重な文化財を調査し、県として重要なものは県指定文化財等への指定を進めるとともに、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとした国・県指定等文化財や埋蔵文化財の保護を図ります。
- 市町や所有者等と連携して、文化財を活かした人づくりやまちづくりを促進します。

主な事業

- ① 文化にふれる機会提供事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費）
 - 当初予算額：(23) 10,500千円 → (24) 10,500千円
 - 事業概要：県民が文化活動の成果を発表する場として、「県民文化祭」「県展」「音楽コンクール」を県民総ぐるみの文化の祭典「みえ文化芸術祭」として総合的に開催します。
- ② 文化交流機能強化事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費）
 - 当初予算額：(23) 19,238千円 → (24) 17,962千円
 - 事業概要：文化交流ゾーンを構成する各施設の魅力をPRするとともに、各施設が連携・協力し所蔵する資料等を最大限生かした魅力ある展示等を実施します。
- ③ 文化交流ゾーン環境整備事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費）
 - 当初予算額：(23) 19,773千円 → (24) 46,744千円
 - 事業概要：文化交流ゾーンとして位置づける総合文化センターと新県立博物館との一体的な利用を促進するため、広場や付替道路等の環境整備を行います。
- ④ 文化会館事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 8総合文化センター費）
 - 当初予算額：(23) 46,172千円 → (24) 46,172千円

事業概要：質の高い文化芸術公演の実施やアウトリーチ活動、人材育成に取り組み、県民がさまざまな文化芸術にふれ親しむ機会の提供を行います。

- ⑤ 地域の文化資産活用促進事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 3文化振興費）
 - 当初予算額：(23) 2,152千円 → (24) 2,286千円
 - 事業概要：歴史街道やまちかど博物館の地域の歴史的・文化的資産を活用した地域住民の主体的なまちづくり活動を支援します。
- ⑥ こころのふるさと斎宮づくり事業（環境生活部）
 - 【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 - （第2款 総務費 第5項 生活文化費 11斎宮歴史博物館費）
 - 当初予算額：(23) 93,093千円 → (24) 97,476千円
 - 事業概要：平安時代の斎宮が体感できるよう、平成26(2014)年度の完成をめざして、東部整備基本計画に基づき、3棟の復元建物の実施設計および基盤整備を行います。
- ⑦ 活かそう守ろう“みえ”の文化財事業（教育委員会）
 - 【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 - （第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費）
 - 当初予算額：(23) 113,384千円 → (24) 71,768千円
 - 事業概要：地域の貴重な文化財を、守り伝え活かしていくために、所有者等が行う指定文化財等の活用と修理等保存事業に対して補助等の支援を行います。
- ⑧ 新たな地域文化発掘推進事業（教育委員会）
 - 【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 - （第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費）
 - 当初予算額：(23) 4,070千円 → (24) 4,403千円
 - 事業概要：県内にある身近な文化財（鳥羽・志摩地域の海女習俗等）について、その価値を再発見し、文化財指定・登録への取組を行うとともに、それらを活用して、ひとづくり・まちづくりを進めます。